

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/02/14号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

地政学リスクで8週連続高

NY原油先物相場は、1バレル=93ドル台後半まで値上がりする展開になった。週前半はイラン核協議が進展する可能性が浮上したことが警戒されて調整売りが優勢になり、88.41ドルまで下落した。しかし、その後はウクライナ情勢に対する警戒感を改めて織り込む動きが強まり、2月11日引け後には94.66ドルまで上値を切り上げる展開になった。8週連続で上昇し、2014年9月以来の高値を更新している。

サリバン米大統領補佐官は2月11日、ロシアがウクライナ侵攻に十分な兵力を終結させたとして、いつ侵攻が開始されてもおかしくないとの見方を示した。ウクライナ国内にいる米国民に対しては24~48時間以内の退避が呼び掛けられている。ロシアは米国の「ヒステリー」と一蹴しているが、各国の外交的な問題解決を探る動きが明確な成果を得ているとは言い難く、ロシア産エネルギー供給の先行き不透明感が原油相場を押し上げる展開が続いている。2月12日には米露首脳会談が行われるも、目立った進展はみられず緊張感が維持されている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (2月4日時点) は、原油が前週比476万バレル減、ガソリンが164万バレル減、石油精製品が93万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

地政学リスクの織り込み続くと堅調、イラン核協議には要注意

地政学リスクに対する警戒感が維持されると、上値追いの展開も維持される。特にウクライナ情勢に対する関心は高く、ロシアのウクライナ侵攻の可能性が高まり、冬季オリンピックの開催中にもかかわらず実際の侵攻が行われると、一気に100ドルの節目を試す可能性もある。

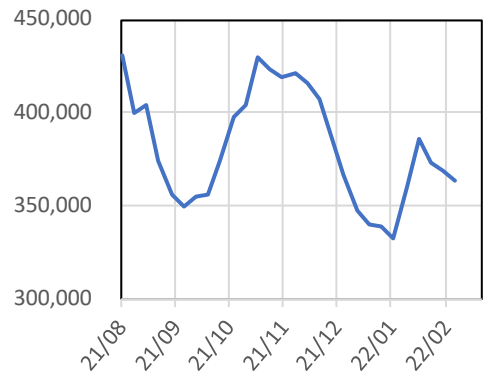
現状では何ら供給障害は発生していないが、ロシアがウクライナに侵攻した際には、欧米が対口制裁に踏み切るのは確実な情勢にある。エネルギー分野でも制裁が行われると、欧州地区を中心にエネルギー需給環境が極端の混乱状態に陥るリスクを抱えた状態にある。

一方、イラン核合意の立て直しを巡る協議は、最終局面に差し掛かっている。2月8日にイランと米国との間接協議が行われている。協議の詳細は明らかにされていないが、月内にも最終的な結論が出される可能性がある。仮に核合意の立て直しが実現してイラン産原油の市場復帰が進めば、日量100万バレル超の追加供給がお行われる可能性があり、原油相場の急落リスクとして注意が求められる状況になっている。

国際エネルギー機関（IEA）2月11日発表の月報において、今年上期の国際原油需給は供給過剰になるとの見通しを再確認している。ただ、石油輸出国機構（OPEC）プラスの増産合意の未達が続く、供給の緊張感が高まると、原油価格は更にボラティリティが高まり、価格は上振れする可能性があるとの見方も示している。

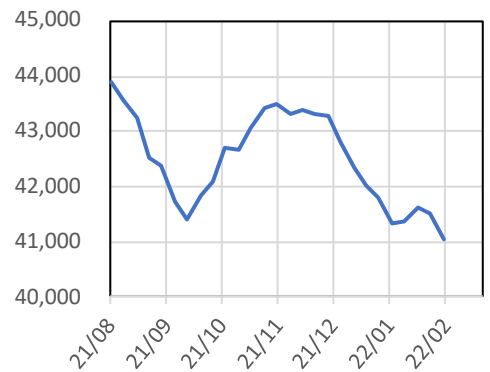
ウクライナ情勢やイラン核協議など、地政学リスク主導の展開が続く。いずれも政治問題だけに予見可能性は乏しく、高値波乱の展開が続き易い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



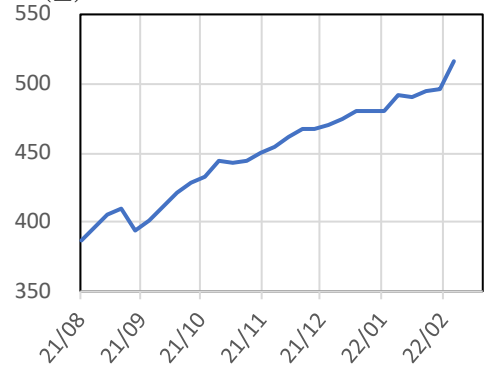
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

